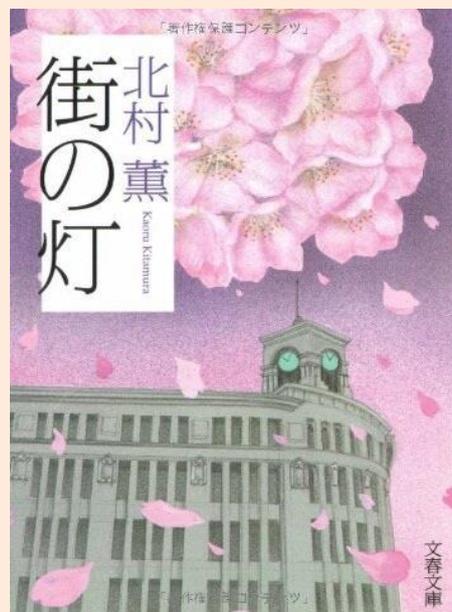


『街の灯』 文芸春秋
北村 薫／著

昭和初期、花村家の令嬢・英子の運転手として就いたのは、暴漢に対峙できるほど武道に秀でた別宮みつ子。英子はみつ子をひそかにベッキーさんと呼び、親しく会話するうちに、周辺で起こる不思議な事件を解決していく。



サッカレー著『虚栄の市』、江戸川乱歩著『屋根裏の散歩者』、グリーグ作曲「トロルドハウゲンの婚礼の日」など、作中で本や音楽について多彩に語られている。それらを知ることで、物語の世界観に深く入ることができる。このシリーズは1作ごとにその時代の雰囲気を感じさせ、ベッキーさんの謎も徐々に解き明かされる。3作目『鷺と雪』で直木賞を受賞。